

開講科目名 Course	経済法研究（Ｂ）／Competition Law（Ｂ）
時間割コード Course Code	13130
開講所属 Course Offered by	法学研究科修士課程／
開始年度・学期 Start Year・Semester	2022年度／Academic Year 後期
曜限 Day, Period	水／Wed 5
開講区分 semester offered	後期／.
単位数 Credits	2.0
学年 Year	1,2,3,4
主担当教員 Main Instructor	高橋 省三
科目区分 Course Group	企業関係法科目群
教室 Classroom	
講義形式 Lecture Style	講義科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	高橋 省三（法学部）
授業の目標	我が国の経済システムの基幹である独占禁止法の理念・規制内容を理解し、説明する能力を習得する。 企業経営における独占禁止法遵守の重要性とそのあり方を理解する。 競争という概念を通じて経済社会を観る目を養う。
授業の概要	通年で、独占禁止法及びその関係法（下請法及び景品表示法）を学ぶ。 受講生との対話を重視し、受講生の問題意識に沿った講義を心掛けたい。 体系的な講義を進める一方、随時、独占禁止法が直面する新しい課題も紹介する。 特に税法との関係において生じる問題についても言及する。 毎回事前に配布するレジュメに沿って講義を行う。 オンラインのZOOMライブ方式で行う予定。
評価方法	授業での発言など授業への貢献度（30％）、随時行う小テスト（30％）、期中・期末レポート（40％）
教員の指導に従わない以外の事由による失格基準	固定的な基準は設けない、ただし、欠席が多い場合には、当然、単位取得は困難となる。
授業計画	後期では、不公正な取引方法の続きとこれに関する関係法律、私的独占、独占禁止法の手続等を学ぶ。 第1回 優越的地位の濫用(1) 第2回 優越的地位濫用規制(2) 第3回 下請法 第4回 景品表示法(1) 総論 優良誤認 第5回 景品表示法(2) 有利誤認 景品規制 第6回 景品表示法(3) 最近の話題 第7回 私的独占(1) 総論 第8回 私的独占(2) 事例 第9回 税（特に消費税）と独占禁止法 第10回 独占禁止法違反に対する制裁 第11回 独占禁止法違反に対する制裁 第12回 企業における独占禁止法コンプライアンス/期中レポート課題提示 第13回 中小企業と独占禁止法 第14回 デジタル経済と独占禁止法 第15回 期中レポートの解説
テキスト	「はじめて学ぶ独占禁止法（第3版）」（商事法務）
参考書	授業の中で紹介する。

アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	含まない
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	
実務経験のある担当教員による授業	該当する
担当教員の実務経験を活かした授業の内容	公正取引委員会において独占禁止法の運用に携わった経験を踏まえ、実務的かつ理論的な解説を行う。
質問への対応方法	メールで対応する。授業中及び授業時間前後の質問も歓迎する。
フィードバックの方法	メール又は授業中に対応する。
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	教科書の指定箇所及び事前に配布する資料を読んでおくこと。
使用言語	日本語
SDGs 17の目標（1～10）	9.産業と技術革新の基盤をつくろう
SDGs 17の目標（11～17）	
PROGリテラシーの要素	
PROGコンピテンシーの要素	